

令和5年度企業版ふるさと納税活用事業実績

事業名	ひとづくり推進事業
取組内容	①益田版カタリ場 小学生と高校生、中高生と大人による1対1の対話を通して、「これまでの人生と、これからどうありたいか」自分自身の生き方について考えることで、自分の「心に火を灯す」授業を実施した。 小学生×高校生、中学生×地域の大人、高校生×益田の大人 ②高校生期のライフキャリア教育（教育魅力化コーディネーターの配置） 高校と地域・企業・行政をつなぐコーディネーターを配置し、高校生の学校外での活動づくりを実施した。 ・課題研究授業　・イベントを通じた地域住民との交流 ・ライフキャリアインタビュー　等の伴走支援 ③JFAこころのプロジェクト「夢の教室」 日本サッカー協会に所属する元アスリートや現役アスリートが自分の夢を実現するためにどんな事をしたか、また挫折や悩んだ時にどのようにその苦勞を乗り越えたかについて、小学生に伝える授業を実施した。 ④益田版・職場体験 単なる仕事の体験ではなく、そこで働く「ひと」との出会いを通して、働く大人のひととなりに触れることで、自分はどんな「ひと」になりたいか考える機会を創出した。    【益田版カタリ場】 【夢の教室】 【益田版・職場体験】
	○「<u>益田市には魅力的な大人が多い</u>」と答えた新成人の割合 目標：80% / 実績：81.0% ※R4実績：93.5% ○益田市で地域活動をした県外の若者の延べ人数と満足度 目標：300人、80% / 実績：253人、82.1% ○「<u>将来、益田に住みたい</u>」と答えた新成人の割合 目標：80% / 実績：71.6% ※R4実績：80.9% ○益田市で一週間程度、インターンシップや体験活動した若者の延べ人数と満足度 目標：30人、80% / 18人、100% ○ライフキャリア教育に関わる大人の数 目標：1,000人 / 実績4,542人 ○ライフキャリア教育に関わる市外の若者の数 目標：3人 / 実績：3人 ○キャリア教育に参加した企業数 目標：250社 / 実績：138社

成果	○その他、事業実績（定量的効果。（ ）内は前年度実績）。 ①益田版カトリ場 ・14（15）小学校、9（9）中学校、4（4）高校で実施 ・対話した人数 1,424人（1,502人） 地元で活躍する大人と出会うことで、益田のまちへのイメージが高まった。地域の大人と子どもの繋がりを強くして、地域全体で子どもを育てていく意識の啓発となった。 ②高校生期のライフキャリア教育（教育魅力化コーディネーターの配置） ・各校での授業実施コマ数 150（182）コマ ・高校生の地域活動の伴走支援 19（25）プロジェクト 多くの人と出会う機会を創出したことで、生徒が多様な価値観に触れることができた。また益田の魅力を高校生に伝えることができた。 ③JFAこころのプロジェクト「夢の教室」 ・実施校 11（9）校 ・児童数 396（272）名 挑戦する気持ちをより持てるようになった。夢を持つことや、目標を立てることの大切さを感じることができた。 ④益田版・職場体験 ・実施校 市内全中学校9校（9）、395名（382） ・受入事業所 138事業所（135） 「魅力的な事業所がある」、「働いている大人はかっこいい」といった生徒の意識変容のほか、「対話により自身の振り返りの機会になった」など、受入事業所においても事業に対する満足感が得られる結果となった。
今後の事業展開	意識変容に関する指標（下線部分）が前年度に比べて減少したことから、今後は、量的な指標は維持しつつ、意識変容に効果的な事業実施を検討し、いかに子どもたちの生きる力の育成や、人材の還流、持続可能な地域づくりにつながったかという点に着目し、事業展開及び効果測定を図りたい。 高校との連携をより強め、他の事業（サードプレイスやロールモデル接続事業等）と接続することで、カトリ場の授業をきっかけにした地域活動参加や多様なひととの出会いの機会を創出を図りたい。 また、参加する大人にとっても自身を振り返る機会として価値付けし、多くの方に関わっていただけるよう働きかける。

令和5年度企業版ふるさと納税活用事業実績

事業名	市内高校連携推進事業
取組内容	【市内4高校の特色を活かした高校魅力化の取組】 ①高度理数系人材育成支援業務委託（3事業） 1）「サイエンスキャンプ」（大学教員による中学生向け実験教室） 2）出前実験（小学生向け理科実験教室） 3）理科読を楽しむ会（小学生向けの理科実験・本の読み聞かせ）  サイエンスキャンプ ②農業・モノづくり人材育成業務委託 1）産業の魅力発信：9事業（36回） GAP米（田植え・稲刈り）体験・親子でうどん教室 地元中学生との給食交流会 など 2）地産地消推進：2事業（4回） 農産物・加工品の地域販売実習 など 3）地域連携による技術実証及び技術活用：3事業（4回） 農業機械整備実技指導・ぶどう剪定指導 など 4）体験・交流による地元就職意識向上：5事業（9回） 土木工事現場見学会・工場見学・農業セミナー など  田植え体験 ③私立高等学校魅力化活動補助金 （益田東高等学校） 小中学生との交流機会の創出（学力育成講座の実施）を目的とした施設整備を実施。 希望する高校生が「学習支援員」として参加。 ・夏季冬季休業期間中の学力育成（小学校高学年対象） 読書感想文、自由研究、プログラミング、英語（夏季） 参加者：のべ49名 英語（冬季） 参加者：のべ14名 ・平日夜間・休日の学力育成（中学生対象）※7月～3月 平日数学 参加者：のべ349名、平日英語 参加者：のべ576名 休日英語・数学 参加者：のべ106名 （明誠高等学校） 生徒・教員・地域住民等が交流するための施設整備を実施。地域との交流事業だけでなく、市内企業との進路相談などにも活用した。また学校行事の際には一般開放し、地域の方との交流機会の創出にもつながった。 ・文化祭での地域住民との交流 利用者総数：100名（うち生徒：40名） ・カトリック 利用者総数：30名（うち生徒：10名） ・進路関係者等との相談 利用者総数：40名（うち生徒：20名） など  益田東高校  明誠高校

	【市内4高校の魅力を小中学生に発信する取組】 ①益田未来協働フェスタ2023（7/7～7/8） 市内4高校が連携・協働して、各校の魅力を発信するためのイベントを開催 ②市内4校の魅力発信冊子作成・配布 市内4校の魅力を紹介する冊子を作成し、市内小学6年生、中学3年生に配布し、進路選択の一助としてもらう。（作成部数：900部）
成果	【市内4高校の特色を活かした高校魅力化の取組】 ①高度理数系人材育成支援業務委託 小中学生の科学に対する興味・関心を高め、学習の動機付け、進路選択の幅を広げることに繋がった。また、アウトリーチ活動を通して、高校生の表現力・地域貢献への態度を養った。 ②農業・モノづくり人材育成業務委託 生徒の企画力・コミュニケーション能力の向上に繋がった。また、企業見学や農業セミナーを通じて、進路選択の幅を広げることができた。 ③私立高等学校魅力化活動補助金：2事業 1) 益田東高等学校 県外出身学生の参加：113名／満足度83% 生徒が学習支援員として参加し、地域住民と生徒との交流が図られた。中学生にとっても高校生の学習や生活の一端を知る機会となった。 2) 明誠高等学校 県外出身学生の参加：140名／満足度81.1% 地域と交流できる場所ができたことで、地域協働教育事業が活発になることが期待される。 【市内4高校の魅力を小中学生に発信する取組】 ①益田未来協働フェスタ2023（7/7～7/8） 参加者：小学生359名、中学生125名、高校・一般950名 小学生アンケート結果（魅力化発信ブースの感想）※複数回答可 各高校の魅力が分かった：77人 将来のイメージがわいた：21人 記述感想 ・その高校に行きたくなった。・4高校に魅力があることが分かった。 中学生アンケート結果（魅力化発信ブースの評価） とても満足36%・満足57% ②市内4校の魅力発信冊子作成・配布 特に中学生が高校進学について考える際の参考になったと考えられる。
今後の事業展開	中高一貫教育に接続する取組の一つとし、引き続き、市内の高校の魅力化に資する取組に支援を行うとともに、その取組を小中学生に発信することで、全ての子どもたちの卒業後の選択肢を増やし、益田の未来を担う子どもたちの育成を図る。